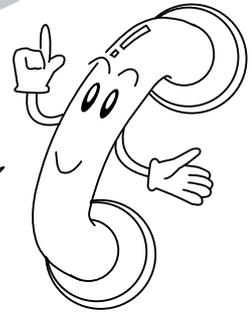


樹脂被覆手すり 取扱説明書

本取扱説明書は施工後お客様
にお渡しください。

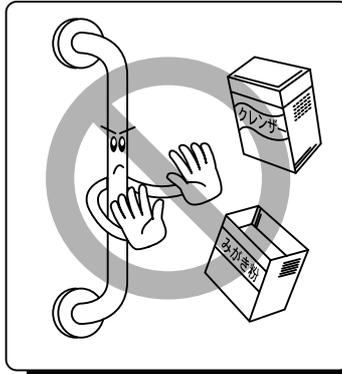


お手入れ

器具が美しさを保てるように、正しくお手入れをしてください。



1 普段は柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは中性洗剤をしみこませた布でふき、その後、水ぶきしてください。



2 クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなど、傷を付けやすいものは使用しないでください。



3 酸性、アルカリ性洗剤はつやを失ったり変色するので使用しないでください。タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び手すりを十分水洗いしてください。

使用上の注意



注意

- ◎手すりの上に乗ったりぶらさがったりしないでください。製品及び取付け部の壁が壊れるおそれがあります。
- ◎手すりに強い衝撃を与えないでください。使用中にこわれて思わぬケガの原因になります。
- ◎手すりに火を近づけないでください。表面が変形、変色します。
- ◎可動手すり（AHR-153）のブラケット部分に触らないでください。手をはさまれケガの原因になります。

カネソウ株式会社

本 社 〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

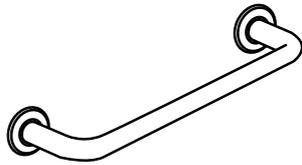
TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905

ホームページアドレス <http://www.kaneso.co.jp/>

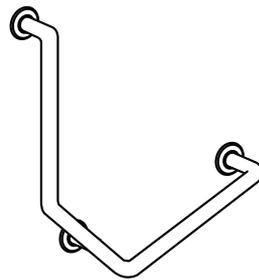
E-Mailアドレス info@kaneso.co.jp

手すりの種類

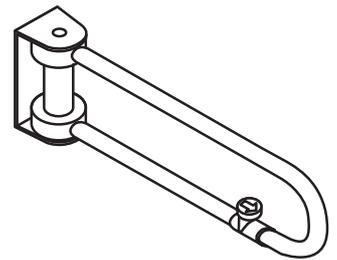
AHR-70R



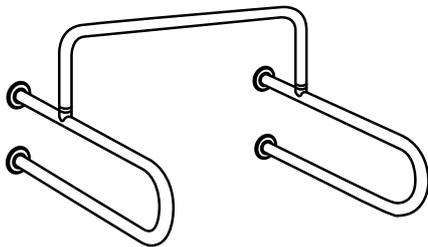
AHR-91



AHR-153



AHR-200



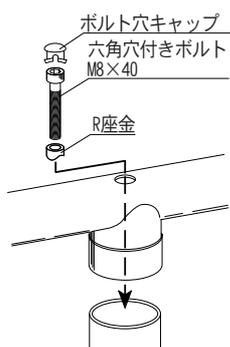
AHR-259



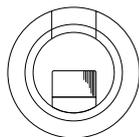
組立・取付手順

手すり本体の組立 (AHR-200・AHR-259のジョイント部組立)

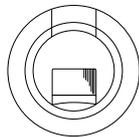
1 R座金はパイプ内面のRに沿うように、ボルトと一緒に挿入してください。



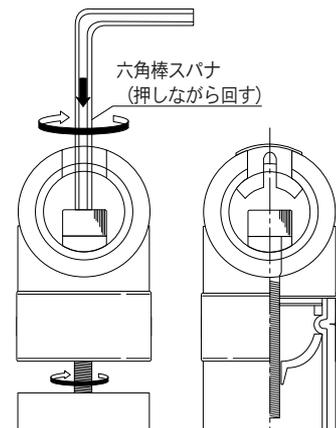
良い例



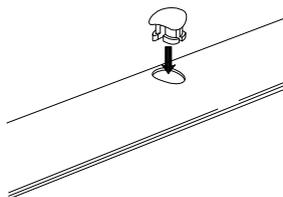
悪い例



2 ボルトは六角棒スパナで強く締めてください。



3 ボルト穴キャップをパイプのRに合わせてはめ込んでください。



ボルトを六角スパナでパイプ内面に押し付けながら回すと、R座金の方向がずれずに固定できます。



注意

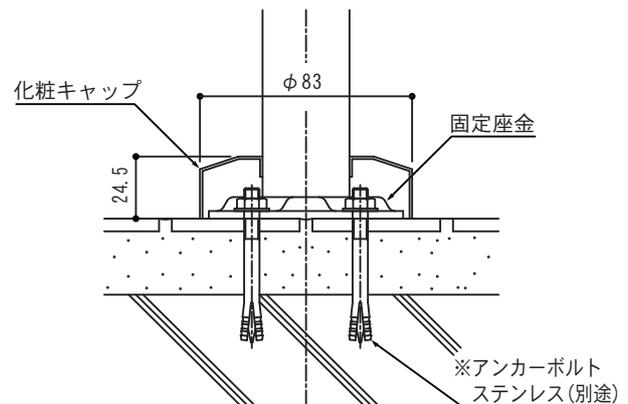
方向を間違えると指を引っかけ、ケガの原因になります。

取付方法 1 (固定式)

AHR-70R・AHR-91・AHR-200・AHR-259

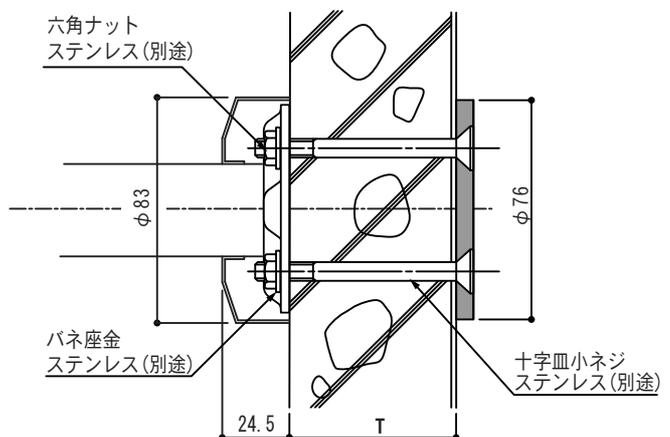
後付

- 化粧キャップを引き上げてください。
- アンカーボルトの下穴をあけてください。
ドリル径はAHR-70R、AHR-91は $\phi 8.5\text{mm}$ 、AHR-200、AHR-259は $\phi 6.5\text{mm}$ で、深さはアンカーボルトのL寸法マイナス5mm程度であけてください。
- アンカーボルトを完全に固定し、固定座金を確実に取り付けてください。アンカーボルトは、1カ所の固定座金に対し、AHR-70R、AHR-91はM8を2本、AHR-200、AHR-259はM6を4本使用します。
- 化粧キャップを仕上げ面に押し付けてください。



はさみ込み固定方法

- 固定座金の穴位置に通し穴をあけてください。穴径はAHR-70R、AHR-91は $\phi 8.5\text{mm}$ 、AHR-200、AHR-259は $\phi 6.5\text{mm}$ としてください。
- 裏面に隔壁取り付け用金具を当て、皿小ネジを回し、バネ座金と六角ナットで確実に締め付けてください。
- 最後に化粧キャップを壁面に押し付けてください。皿小ネジは、1カ所の固定座金に対し、AHR-70R、AHR-91はM8を2本、AHR-200、AHR-259はM6を4本使用します。皿小ネジの長さは壁厚T+14~19mmとしてください。

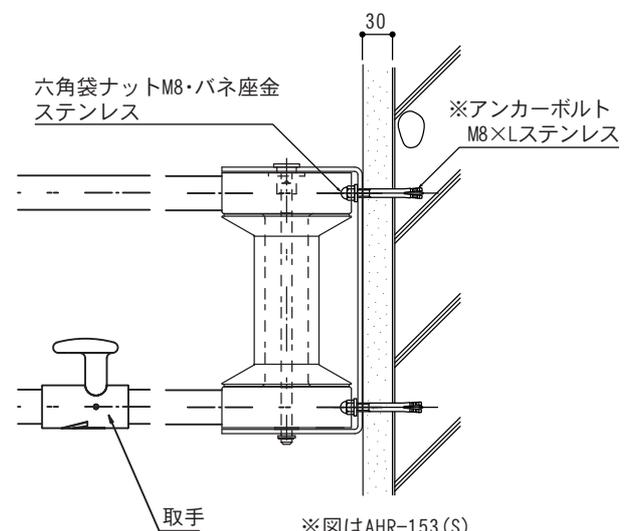
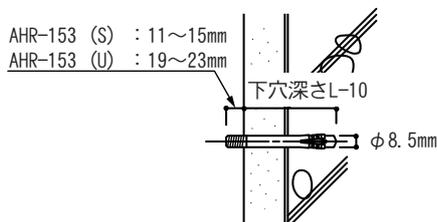


取付方法 2 (可動式)

AHR-153(S)・AHR-153(U)

後付

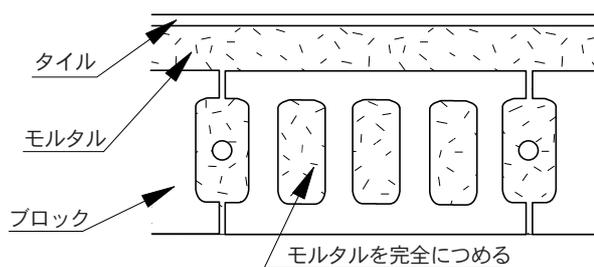
- 手すり本体の穴位置に、ドリルで $\phi 8.5$ で深さはアンカーボルトのL寸法マイナス10mm程度に下穴をあけ、アンカーボルトを確実に固定します。この時壁面からアンカーボルト上端まではAHR-153(S)の場合11~15mm程度、AHR-153(U)の場合19~23mm程度出るように固定してください。ボルトの出が前記以上の場合、袋ナットが完全に固定できません。
- 手すり本体の穴にアンカーボルトを通し、バネ座金、六角袋ナットで完全に固定してください。



※図はAHR-153(S)

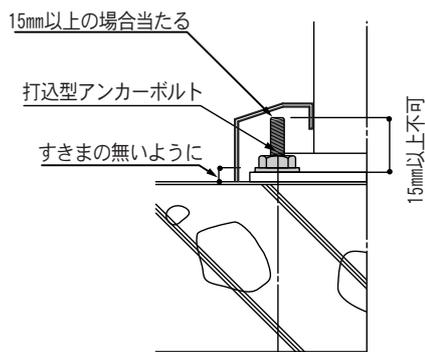
取付必要事項

- 取付けには下記の部品が必要となりますので、別途ご注文ください。
- 躯体がブロックの場合は、空洞部にモルタルを詰めて鉄筋で補強するか、HITアンカー（日本ヒルティー）をご使用ください。
- 軽鉄下地の壁の場合は補強してください。



タイプ	製品符号	取付方法	部品名	形状・寸法	材質	必要数量	備考
固定式手すり	AHR-70R AHR-91	アンカーボルト固定	打込型アンカーボルト ($\phi 8 \times L$)	$\phi 8$	ステンレス	2	別売部品
		隔壁固定	隔壁取付け用座金、バフ研磨	$\phi 76$	ステンレス	1	別売部品
			十字穴付皿小ねじ	M8×L	ステンレス	2	
			六角ナット	M8	ステンレス	2	
			バネ座金	呼び $\phi 8$	ステンレス	2	
	AHR-200 AHR-259	アンカーボルト固定	打込型アンカーボルト ($\phi 6 \times L$)	$\phi 6$	ステンレス	4	別売部品
		隔壁固定	隔壁取付け用座金、バフ研磨	$\phi 76$	ステンレス	1	別売部品
			十字穴付皿小ねじ	M6×L	ステンレス	4	
			六角ナット	M6	ステンレス	4	
			バネ座金	呼び $\phi 6$	ステンレス	4	
可動式手すり	AHR-153(S) AHR-153(U)	アンカーボルト固定	打込型アンカーボルト ($\phi 8 \times L$)	$\phi 8$	ステンレス	4	別売部品

組立上の注意



- ◎アンカーボルト用の下孔を開ける場合、防水層を貫通しないよう注意してください。漏水の原因になります。
- ◎固定式の場合、ボルト上端は固定座金上面より11~14mmにしてください。15mm以上出ると化粧キャップにあたり、壁面又は床面にすき間ができます。10mm以下の場合十分な強度を得られず破損して思わぬケガをすることがあります。
- ◎化粧キャップは、壁面又は床面に確実に押し付けて、すき間のないようにしてください。
- ◎手すりには全体重がかかります。がたつきのないように確実に固定してください。
- ◎施工の際、手すりに傷をつけないため養生シートは取付け部分のみはずして施工してください。
- ◎取付け方法として、溶接固定を行う場合は別途ご相談ください。